津田学園高等学校(三年制)

https://tsudagakuen.ac.jp/koukou/
桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-6311

未来を切り拓く人材を育成するために、様々な取り組みを実践しています。教育ICTでは、昨年度の入学生から生徒全員がChromebookを持つことで、WEB上での探究的な学習活動から授業課題の送受信、資料の作成、振り返りシートの記入に至るまで、多岐にわたる活用がなされています。グローバル・マインド育成の取り組みでは、今年度はVRゴーグルを活用したオンライン留学を実施し、国内にいながら異文化体験や国際交流を行いました。また、セブ島語学研修を12月に実施予定です。アクティブラーニングを取り入れた授業で主体的、能動的に学習に取り組むことにより、課題解決能力を育み、これからの社会で求められる力を身につけていきます。高大連携事業で三重大学の教授による特別授業、会社経営者やジャーナリストによる進路講演会なども実施しました。

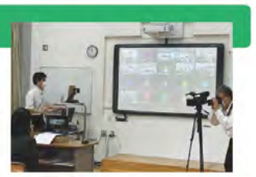
☑高大連携講座を実施しました

6月9日に三重大学との高大連携講座を実施しました。
この日は、人文学部の中川正教授をお招きし、「社会の法則を探る」をテーマに講義をしていただきました。普段の高校の勉強とは異なる学問に触れ、意欲的に取り組むことができました。
また、夏休みには三重県立看護大学の中北裕子准教授、田端真助教から看護分野に関する内容、9月には三重大学の川向洋之教授から数学、和田崇准教授から国語の出前授業を実施していただきました。

☑ダンス部に新しいダンススタジオができました

6月27日に大山田キャンパス内にダンススタジオが完成しました。
広々としたスペースでリズムをとり、大勢で呼吸を合わせて踊ることができます。
大きな鏡でその動きを写しチェックするなど質の高い練習ができるようになりました。
10月に参加予定であるイベントや12月に開催される三重県ダンスフェスティバルに向けて、猛練習を行っています。
良い環境・良いチームで日々練習に励んでいます。

☑SMBCコンシューマーファイナンス株式会社の方をお招きして金融講座を行いました



7月4日、高校1年生を対象に三十三銀行様との協働セミナー「金融リテラシー講座」を開催しました。4月からの成年年齢の引き下げにともない、18歳からクレジットカードを作ることができるようになったこと。このことにより、若い世代をねらった悪徳商法や詐欺による被害の拡大が懸念されていることを、実際の事例をもとに説明していただきました。名義貸しやアルバイト詐欺、フィッシング詐欺とはどういうものかと説明を受け、真剣に考える姿がみられました。身近なところでカードトラブルが起こるということを知ったとともに、トラブルを自分事として捉えて、その対応について考えることができました。

☑キャリア教育講演会を実施しました

7月6日、等身大株式会社代表取締役VITA先生を講師としてお招きして、2年生を対象に大学などの「オープンキャンパス」活用についてご講演をいただきました。元芸人でもあり、現在はエンタテイナー・講演家として活動されているVITA先生自身の経験に基づいた講話は、大変分かりやすく、生徒の心に響いていました。漠然とオープンキャンパスに参加した方が良いのかなと考えていた生徒にとって、参加する目的が明確になったようでした。部活動等で時間がない中でも参加しようという声が多くありました。

☑県総体結果報告

令和4年度の三重県高等学校総合体育大会が行われました。野球部は準優勝を果たし、東海大会に出場しました。ゴルフ部が女子団体の部で4年連続7度目の優勝を果たし、女子個人に置いても1位～3位入賞を独占しました。また、中部大会でも3位入賞を果たし、4年連続6回目の全国大会出場を決めました。その他、水泳部が男子団体・女子団体がともに準優勝、テニス部が男子団体・女子団体ともに第3位に入賞。柔道部も女子個人で第3位、男子個人で第5位に入賞しました。また、女子サッカー部がベスト4、陸上部が男子5000mでベスト8と健闘しました。

TEACHER'S VOICE

津田学園高等学校　教頭　角谷 修

津田学園高等学校においては今年35年を数えることとなりました。
今では、本校卒業生のお子様が入学してくれることも多くなり、この巡り合わせに感謝しています。
時代や社会が変わっても、緑に囲まれた校舎や、遠くから聞こえる野球部の掛け声、体育館から響くホイッスル、吹奏楽部の楽器の音、生徒たちの明るい笑顔や気持ちの良い挨拶、目標に向かって一生懸命取り組む生徒たちの姿は今でも全く変わりません。そんな生徒たちに力をもらって、これからも津田学園がますます発展するように、教職員一同精進してまいります。

OPEN CAMPUS

学校説明会	11月12日(土)9:30～/11:30～
部活体験・見学会	11月3日(祝・木)9:30～12:00
授業体験会	11月5日(土)14:00～14:50
保護者対象授業見学会	10月28日(金)10:00～10:50 11月　1日(火)10:00～10:50

躍動

津田学園広報誌
2022.10 Vol.8

津田の夢
津田の信念
津田の友情

50周年 since 1972
学校法人 津田学園

出会いと学びの広場　学校法人 津田学園

編集 発行　学校法人 津田学園

津田学園50年の歴史　津田学園の教育

学校法人津田学園は令和4年に創立50周年を迎えました。本学園の歴史を築いてきた卒業生の皆さん、本学園の教育に賛同しご協力いただいた保護者各位、そして本学園の発展に多大なるご支援を賜りました皆様方に心から感謝を申し上げます。

本学園は昭和47年4月、四日市市笹川の地に笹川幼稚園（現津田第一幼稚園）を開園し、歴史を刻み始めました。そして半世紀を経た今、四日市・桑名両市にまたがり5つの幼稚園、小学校、中学校・高等学校（六年制）、高等学校（三年制）を擁し、またスポーツや芸術・文化振興を目的とする各種教室を開設する総合学園として発展を遂げています。

本学園はこの50年間、創立者である津田勉が自身の教育に対する理想と情熱を込めた建学の精神「津田の夢・津田の信念・津田の友情」を掲げ、その具現化に向けて邁進して参りました。学校教育と社会教育の垣根を可能な限り低くすることによって、世代を超えた人々がふれあい、学びあうことができる、生涯教育の場としての「津田学園のまち」づくりを推し進め、これまでに2万8千人を超える卒園児・卒業生が巣立ち、数万人の会員が各種スクールで学びました。そして、さまざまな分野で活躍され、国や社会の発展に貢献する姿を大変誇らしく、また嬉しく思います。

わが国そして世界は今、大きな転換期を迎えており、その波は教育界にも押し寄せています。「答えのない時代」と言われる中で、たくましく、しなやかに生き抜いていく力を育む教育への変革が求められています。

この度、創立時からの記録と、学園の発展にご尽力いただいた方々の記憶をたどる機会がありました。このような変革期こそ、改めて創立の原点に立ち戻って、これまでの歩みを振り返り、脈々と受け継がれてきた教育の本質を確認した上で、建学の精神を新しい時代に即した形で具現化を図っていかなくてはならないと考えています。

創立50周年を迎えるにあたり、より良い教育環境を整備するための基本方針「TsudaVision50」を策定しました。目指す津田学園の未来像は、「生徒・保護者から愛され誇りとなる津田学園、地域の方々から愛され誇りとなる津田学園、教職員に愛され誇りとなる津田学園」です。この実現のために、創立者の強い想いの結実でもある「津田らしさ」により磨きをかけて、100周年に向かって、教職員一同、教育活動に専心していく所存であります。

今後も温かくそして力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校法人 津田学園
理事長　津田 浩二

■ 昭和47年（1972年）

1月／創立者 津田勉が学校法人津田学園 設置
4月／笹川幼稚園（〈現〉津田第一幼稚園）開園

■ 昭和49年（1974年）

4月／笹川第二幼稚園（〈現〉津田第二幼稚園）開園

■ 昭和53年（1978年）

4月／三滝幼稚園開園（〈現〉津田三滝幼稚園）開園

■ 昭和57年（1982年）

4月／桑名中央幼稚園（津田桑名幼稚園）開園
　温水プールを併設した幼稚園（中部地方では初）
　津田スイミングスクール桑名校 開校

■ 昭和59年（1984年）

8月／大山田キャンパス造成開始　「学園のまちづくり」構想
　総合学園建設を目指す

■ 昭和60年（1985年）

3月／津田学園テニススクール 開校
4月／学法津田学園附属幼稚園
　（〈現〉津田大山田幼稚園）開園

■ 昭和61年（1986年）

4月／学法津田学園中学校（〈現〉津田学園中学校）開校（男子校）
　津田体育専門学校 開校
　研修センター（テニスハウス） 竣工

■ 昭和62年（1987年）

4月／学法津田学園高等学校（〈現〉津田学園高等学校）開校
　学法津田学園中学校 男女共学となる
　津田スイミングスクール大山田校 開校

■ 昭和63年（1988年）

2月／津田学園総合体育館 竣工
4月／セイコーCAI スクール三重
　（〈現〉進学塾津田学園）開校
5月／アメリカから2名のネイティブ講師 招聘
8月／津田学園運動場整備 竣工
　津田学園総合体育館・LL教室・音楽室・卓球場 竣工
11月／津田学園高等学校 海外修学旅行（大韓民国）始まる

津田学園50周年記念行事

◎進学塾津田学園記念行事

東京大学LEGO部員による体験講座
場　所：津田学園中学校・高等学校（六年制）
日　時：8月20日（土）
対　象：進学塾津田学園　津田アクティブイングリッシュスクール全員

◎幼稚園記念行事

音楽物語「ガリバー旅行記」イラストと音楽による童話
ピアニスト仲道祐子 ミニコンサート
場　所：四日市市文化会館
日　時：10月19日（水）
対　象：津田第一幼稚園 津田第二幼稚園 津田三滝幼稚園
　津田桑名幼稚園 津田大山田幼稚園の園児、保護者

◎記念式典

創立50周年を記念した式典をおこないます。
場　所：柿安シティホール【桑名市民会館】大ホール
日　時：11月30日（水）

◎50周年記念音楽会

千住真理子ヴァイオリン・リサイタル
場　所：柿安シティホール【桑名市民会館】大ホール
日　時：11月30日（水）
対　象：津田学園小学校 津田学園中学校・高等学校（六年制）
　津田学園高等学校の児童・生徒

◎津田スポーツクラブ記念行事

オリンピック選手による水泳教室
場　所：津田スイミングスクール四日市校
日　時：11月3日（祝）
講　師：森 隆弘選手（アテネオリンピック出場）
対　象：津田スイミングスクール四日市校
　幼児～小学3年生

場　所：津田スイミングスクール大山田校
日　時：11月13日（日）
講　師：難波 暉選手／小西 杏奈選手（東京オリンピック出場）
対　象：津田スイミングスクール大山田校・桑名校
　幼児～小学3年生

50周年記念トークショー
場　所：津田学園総合体育館
日　時：11月3日（祝）
講　師：上重 聡氏（日本テレビアナウンサー）
対　象：津田スポーツクラブ

オリンピック金メダリスト選手との交流会
場　所：津田スイミングスクール大山田校
日　時：12月4日（日）
講　師：金藤 理絵選手（リオデジャネイロオリンピック金メダリスト）
対　象：津田スイミングスクール大山田校・桑名校・四日市校
　小学4年生以上

■ 平成2年（1990年）

4月／津田学園レセプションハウス 竣工
　（富山県から日本建築の家屋を移築する）
　津田幼児体育研究室
　（現津田スポーツクラブ）開設

■ 平成3年（1991年）

4月／津田情報ビジネス専門学校 開校
8月／津田スイミングスクール四日市校 開校

■ 平成7年（1995年）

3月／津田書院 竣工

■ 平成8年（1996年）

10月／21世紀を拓く子どもたちとメディアをテーマに
　「津田学園25周年記念フォーラム」開催

■ 平成9年（1997年）

9月／津田学園内部校「津田キッズスクエア」
　竣工（野球場・テニスコート・フットサルコート
　ゴルフ練習・宿泊施設など併設）

■ 平成12年（2000年）

3月／津田キッズパソコンスクエア 開校
　津田子育て支援センター 開設
　満3歳児保育開始

■ 平成14年（2002年）

4月／津田第一幼稚園 園舎 新築

■ 平成16年（2004年）

4月／津田学園小学校 開校

■ 平成20年（2008年）

4月／津田 浩二　理事長就任

■ 平成26年（2014年）

3月／津田学園野球場 竣工
4月／津田学園高等学校 コース改編
　「特別選抜」「特別進学」「総合進学」3コースに
5月／児童・生徒・教員が協力して3000本の
　木々を植樹
　津田学園ふるさとの森づくり植樹祭 開催

■ 平成29年（2017年）

3月／津田第一幼稚園 新ホール棟竣工

■ 平成30年（2018年）

4月／「津田ナーサリースクール」開設

■ 平成31年（2019年）

3月／津田情報ビジネス専門学校 閉校
4月／津田アクティブイングリッシュスクール 開校
6月／大山田キャンパス バスロータリー 整備
　大山田キャンパス 駐輪場 整備

■ 令和2年（2020年）

3月／津田体育専門学校 閉校

■ 令和4年（2022年）

1月／津田桑名幼稚園
　移転

津田第一幼稚園 津田第二幼稚園 津田三滝幼稚園
津田桑名幼稚園 津田大山田幼稚園

TSUDA GAKUEN https://tsudagakuen.ac.jp/yochien/

笹川幼稚園（現津田第一幼稚園）が開園して50周年を迎えた今年、改めて「津田学園らしさ」を打ち出し、日々の活動をはじめ季節の行事や園外保育など、本物に触れる機会を設けています。実体験から得られる感動や自信は、豊かなこころを育みます。
また、幼稚園生活の中心となる遊びを通して、主体性や協働性、何事も最後までやり遂げようとするこころなど、幼児期に必要な力を身につけていきます。津田学園では、これからも子ども達のこころに寄り添い、ときには手を差し伸べ、時にはそばで見守りながら、子ども達が自ら考え行動する力を育んでいきます。

津田第一幼稚園

四日市市笹川1丁目106-2
TEL:059-321-8836

梅のジュースの作り方を教わりました

6月21日、津田学園小学校の岡田校長から園庭でできた梅からジュースづくりを教えていただきました。年長児がホールに集まり、梅を水でていねいに洗い、アルコール消毒をして、グラニュー糖と一緒にたるに入れていきました。どんな味がするのか子ども達は興味津々。「早く飲んでみたい」「すっぱそう」と顔をしかめる子ども達も。中には「美味しそう」という子も。実物の梅の実を見て、どんな味がするのか、想像力を働かせて、実際に飲める日が来るのが待ち遠しい様子でした。このような実体験の積み重ねが子ども達の成長につながっていきます。

津田第二幼稚園

四日市市笹川7丁目52
TEL:059-321-8011

南部丘陵公園でネイチャーゲームをしました

子ども達は五感をフル活用して、春の訪れを楽しみながら公園を散策しました。いろいろな春の植物を見つけてカードにシールを貼っていきました。カクレミノの葉でグー・チョキ・パーのジャンケンをしたり、葉っぱの葉脈の表や裏を実際に触ったりする事で手触りが違うことにも気づけました。ミニオンに似た切株を見つけたり、木の根っこが伸びた木を見つけてタコに見立てたりしながらネイチャーゲームを行いました。風の音や鳥のさえずりなど耳をすませる姿も見られました。心と身体で直接自然を体験する事によって自然界のすべてのものがつながっていることに気づけます。身近な自然への好奇心が芽生えた一日となりました。

津田三滝幼稚園

四日市市川島町6513
TEL:059-321-8311

保育参観「親子で制作遊び」を楽しみました

6月4日に保育参観を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、各学年3部制で実施しました。満三歳児、年少児、年中児は「時の記念日」に向けて親子で時計の制作をしました。年長児は「世界一軽いバルサ材」でできた積み木を組み立て、「貯金箱」「お家」など、思い思いの作品をお家の方と一緒に作りました。どの学年でもお家の方と一緒に取り組んでいる子ども達の嬉しそうな笑顔が印象的でした。また、参観の中で、「朝の歌」「季節の歌」など、普段の保育の様子も保護者の方に観てもらいました。今回の保育参観を通じて、子ども達の成長を間近で観てもらうことができました。

津田桑名幼稚園

桑名市清竹の丘9
TEL:0594-22-2611

交通安全教室を行いました

6月30日、桑名警察署、交通安全協会、桑名市役所の方々に来ていただき交通安全教室を実施しました。パトカーの見学では車内の仕組みや実際にサイレンを鳴らし実演をしていただきました。ホールでは交通安全についての映像や信号機を使って交通ルールを学び、雨の日は車も歩行者も視界が狭くなり危険が増えるため、普段より気をつけて歩くことの大切さについても教えていただきました。最後に横断歩道を見立てたシート使って、立ち止まったら右手を上げ「右みて、左みて、右みて」の安全確認をして横断歩道を渡る練習をしました。子ども達も交通安全について楽しく学ぶことができ、改めて交通安全の大切さに気づく機会になりました。

TEACHER'S VOICE

津田三滝幼稚園 主任教諭 下田 香菜

今年度で幼稚園教諭になり21年目を迎えました。私は幼少期からピアノを習っており、好きなピアノを活かせる職業につきたいと思い、幼稚園教諭を目指しました。音楽遊びが好きなので、たくさんある幼稚園の行事の中でも「音楽祭」が一番ワクワクします。昨年の音楽祭では年長児の子ども達と合奏で「Queenメドレー」を発表しました。子ども達と一緒に一つの合奏を作り上げ、とても有意義な時間を過ごしました。子ども達の中には音楽が好きな子もいれば、苦手な子もいます。「音楽祭」の取り組みや音楽遊びを通して少しでも音楽が好きになってくれたり、「たのしかった」「できた」と楽しい表情を見せてくれたり、子ども達の成長を間近で感じられる仕事は他にはないと思っています。今年度は担任を持たずに、全体フリーとして各クラスに入り、お手伝いをしています。これからも、子ども達の成長をクラス担任と一緒に見守っていきたいと思っています。

津田大山田幼稚園

桑名市野田5丁目3-12
TEL:0594-31-8182

跳び箱6段と鉄棒の逆上がりに挑戦しています

運動会の種目の中で跳び箱、鉄棒の逆上がりを発表するため、毎日、登園後ホールで練習を行っています。逆上がりでは、握り方・足の上げ方を何度も確認し、手にまめができても諦めず「あと一回やる!」「あ～もう少しでできるのに」と何度も挑戦しています。跳び箱では、4段からはじめ、跳べると「やった!次5段頑張るぞ!」と跳べたことに自信がつき新たな目標を立て、頑張っています。
みんな同じ目標に向け練習していると、自然に仲間意識が芽生え「がんばれ!」と応援し、お互いに教え合う姿も見られます。友達が達成するとみんなで喜ぶ姿も増えてきました。運動会では、練習した成果を発表し自信に繋げ、またひとつ心も体も大きく成長することを願っています。

TEACHER'S VOICE

津田大山田幼稚園
副主任教諭 鈴木 明奈

今年度は年中組の担任をしています。
年中組では友達との関わりを充実させ毎日楽しく登園できるよう保育を行っています。
幼稚園教諭になってから大切にしていることは、子ども達一人一人の思いやりの心を育むことです。
また、遊びやさまざまな活動を通して、挑戦する気持ちを持てるよう環境をつくり、子ども達の意欲を大切にする保育を心掛けています。友達と刺激しあいながら日々成長していく子ども達。
毎日素敵な笑顔が溢れています。笑顔いっぱいの子ども達とふれあい、嬉しさや楽しさ、驚きや発見がたくさんあります。子ども達の純粋で一生懸命な姿に私自身もやる気をもらっています。

津田スポーツクラブ

https://tsudagakuen.ac.jp/sports/
TEL:0594-31-1161

津田サッカークラブ　津田テニススクール　津田こども基礎体育クラブ
津田バレエクラブ　津田四日市リトルシニア　津田新体操クラブ

津田スイミングスクール
https://tsudagakuen.ac.jp/swim/
大山田校 桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-1161
桑 名 校 桑名市大字東方266-1 TEL:0594-22-2610
四日市校 四日市市久保田2丁目11-13 TEL:059-355-7771

3月27日～30日、東京辰巳国際水泳場で開催されました第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会に津田スイミングスクール四日市校の尾崎照英選手が出場しました。尾崎選手は、今回が初出場となりこれからの活躍が期待されます。
津田バレエクラブでは、6月25日に第30回の発表会を柿安シティホールで開催いたしました。日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしい舞台となりました。
新型コロナウィルスの影響で3年ぶりの開催となった11歳以下の三重県ナンバーワンを決めるJA共済カップ三重県少年サッカー大会に津田サッカークラブが出場しました。県内各地から101チームが参加した大会を勝ち抜き見事優勝を果たし、9月に京都市で開催された選抜大会に出場しました。選抜大会では決勝リーグを勝ち抜き、4位となりました。
また、津田スイミングスクール桑名校の石黒智基先生は9月に開催されたとちぎ国体の成年男子200mリレーで三重県代表の選手として5位入賞を果たしました。

進学塾津田学園

https://tsudagakuen.ac.jp/juku/
TEL:059-321-8221

本部・笹川スクール 四日市市笹川1丁目123　大山田スクール 桑名市野田5丁目3-12　桑名駅前スクール 桑名市大字東方266-1
えんぴつ教室（年中・年長児）　カンガルー教室（小学生・中学生）　アクティブ イングリッシュ スクール（幼児・小学生）

進学塾津田学園では、小学校4～6年にかけてアクティブラーニング国語を授業に取り入れています。事前にテーマを決めて調べ物をしたうえで、自分の意見を発表したり、議論したりします。他人の意見を聞き、最終的に自分の意見をレポートにまとめます。今年度は、環境分野、経済分野を中心に多くの意見を交換しました。読解力に加え、表現力を養うのに効果的な方法です。正解のない授業でもあり、児童も伸び伸びと自由に参加できることも良い点です。
津田学園は創立50周年を迎えました。コロナの影響を余儀なくされた2年間ではありましたが、この経験をもとに創意工夫を凝らして、より充実した教育の機会を提供してまいります。

津田学園小学校

https://tsudagakuen.ac.jp/shougaku/
桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-9311

津田学園小学校では「未来を拓く学力と、自他を愛する人間性」を育むため、基礎的な学力とともに、学びに向かう力が身につくような教育活動を行っています。特に探究心や知的好奇心を高めるため、本物に触れ、本物から学ぶことを大切に、体験的な学習を多く取り入れています。昨年度は校庭内のビオトープを整備し、児童が日常的に観察できる環境を整えました。ビオトープの周りには今まで以上に多くの児童が集まり、毎日のように生き物の観察をしています。また図画工作の授業では、学校周りの自然の草木を利用した紙漉きや、染め物の体験も行っています。豊かな自然に恵まれた本校ならではの教育活動が、児童の自ら学ぶ力を育んでいます。

◎ 校内には生き物が暮らすビオトープがあります

5年生が朝の学習の時間に校内のビオトープにいる生き物を観察しました。本校にはたくさんの生き物が暮らすビオトープがあり、児童はそこで自由に生き物の観察をすることができます。この日はトンボやミズカマキリ、カエルなどのたくさんの生き物を観察することができました。特に、シオヤトンボは羽化している最中や羽化したばかりで羽が乾いていない状態を見ることができ、児童は驚いていました。また、専門家の方にトンボの種類や特性についてお聞きし、その内容を基にGoogle Workspaceを用いてスライドにまとめる学習を進めています。このような機会が、生き物に対する興味・関心を高めるきっかけになればと思います。

◎ 図工科の授業で紙漉きをしました

6年生の図工科の授業で植物を素材にした紙漉きをしました。津田学園小学校の児童が田植えをした稲のわらを素材にした「稲わら紙」と、校舎のまわりに生えている雑草を素材にした「雑草紙」です。植物を素材にした紙作りでは、まず採ってきた雑草などを灰汁で1時間ほど煮て、その後ジューサーでドロドロにします。それを水槽の中で紙漉き道具で漉いた後は水分を取ってアクリル板に貼って乾かします。2〜3日そのまま乾かせば手作り紙の完成です。植物の色や匂い、繊維の手触りがある素朴で魅力的な紙です。前回の授業では段ボールを素材にした再生紙を作っていましたので、みんな紙漉きが上達しています。難しいながらも面白がって、たくさん自分の紙を作っていました。

◎ 日本漢字能力検定「最優秀団体賞」を受賞しました

日本漢字能力検定協会より令和3年度の「最優秀団体賞」をいただきました。「最優秀団体賞」は団体受検をしている全国の小学校の中で5校しか受賞することができない名誉ある賞です。8年前にもいただいており、今回が2回目の受賞となりました。7月4日には協会の方が来校していただき、表彰式を執り行いました。本校の代表として児童の会の会長が賞状を受け取りました。協会の方からは「漢字の学習は読み書きだけでなく、語彙力を高め、読解力向上にもつながっていて、あらゆる教科の学力を向上させる。」といったお話をいただきました。児童全員が努力した結果として受賞できたものです。これからも漢字の学習に励んでいきます。

◎ SDGsに関する出前授業（5年生）

5年生対象に、NPO法人「ちょっと自然」の榊枝様に講師としてお越しいただき、SDGsに関する出前授業を実施しました。SDGs17の目標の中で自分が達成できているものを確認することや普段の買い物の中でその目標を達成するためにはどのようにしたらよいかを考えました。またフェアトレードやエコラベルについて詳しくお話をしていただきました。特に地球環境の保全に役立つことが客観的な基準で評価されていることを示すエコラベルについては初めて知ったという児童が多く「製品にエコラベルがついているか探してみたい」という感想がありました。このような機会が、SDGsについての理解を深め、普段の生活を考えていくきっかけになればと思います。

TEACHER'S VOICE

津田学園小学校
副主任教諭　濱谷 雅美

津田学園小学校で教員として働き始めて十年以上が経ちます。
児童が毎日笑顔で安心して登校できることを目指しており、私自身も日々、新しい発見があり今日は何が起こるだろうと楽しみながら毎日を過ごしています。
今年度は3年生の担任、国語科の教科担任をしています。その中で漢字検定の担当もしています。
本校では毎年全児童が漢字検定を受験します。
漢字に限らずすべてに言えることですが、得意な子もいれば苦手な子もいます。
漢字が得意な児童には満点合格を目標としたり、苦手だと感じている児童には合格に向けて一緒に学習したり、児童が達成感を味わえるように指導をしています。
漢字が苦手だと感じていた子が満点合格をしたときには、児童は当然のこと保護者の方とも喜び合いました。
そのような喜びを感じるたびに教員になってよかったと思っています。
これからも児童と共に多くの喜びを感じながら、日々成長していければと思います。

津田学園中学校・高等学校（六年制）

https://tsudagakuen.ac.jp/chugaku/
桑名市野田5丁目3-12 TEL:0594-31-6311

本校も昭和61年に開校し37年目を迎えた今、創立者津田勉の思いに「原点回帰」し、新たに目指す人物像を制定しました。ここ数年来取り組んできた教育ICTの導入とアクティブラーニングを中心とした授業改善はしっかりと根付き、授業だけでなく生徒会活動、放課後活動などにも好影響を与えてきました。今年度から新たに、土曜登校日を利用したフィールドワークや探究的な学習を行う「サタデー楽習」が始まり、生徒たちは主体的な学びを深めています。また、新しくなった大学入試においても着実に成果を収めています。これからも津田学園中学校・高等学校（六年制）は、自由な発想とフロンティア精神を持って自らの夢の実現に向けて生涯にわたり精励できる人物の育成に努めてまいります。

◎ 今世界で起きていることをプロに聞いてみました

5月10日、過去にJames A. Baker III Instituteに所属した経験があり、現在Mendoza College of Business, Univercity of Notre Dame Business School　に所属している吉森さんによる講演会を4年生と5年生を対象に実施しました。現在のウクライナとロシアの情勢や人間の物事に対する考え方、基礎学力の重要性など、幅広い話をしていただきました。生徒からは、「投資家はウクライナとロシアの問題をどのように捉えているのか」「ウクライナとロシアの問題はどのように終結すると思うか」といった質問が出ましたが、とても丁寧に対応していただきました。

◎ ドローンの歴史と実態に迫る「ドローン講座」受講

6月15日、中学1〜3年生を対象に「ドローン講座」を実施しました。日本ドローン安全飛行推進協会の方々をお招きし、ドローンの歴史やどのように活用されているかなどを学びました。今回は、農薬散布等の大型のドローンや小型のドローンなどを持ってきていただき、生徒たちは実際に手で触れてみてその構造を見ることができました。後半では、これからの社会でドローンをどのようなことに活用できるかをグループで話し合い、発表しました。多くの生徒がドローンに対する関心を高めることができました。7月16日には、サタデー楽習の講座で希望者を募って実際にドローンの操作体験を行いました。

◎ 地域のためにできること　寺町商店街でお手伝い

6月19日に桑名市の寺町商店街で行われた「てらまち体験学習」の運営ボランティアに、インターアクト部の16名が参加しました。このイベントは、寺町商店街にあるいろいろなお店で、小学生がもの作りを体験できるという企画です。参加した部員は、創作活動の指導や風船釣り・輪投げなどの縁日コーナーの運営、抽選会場の補助などで活動してくれました。当日は、暑い中でしたが桑名市内の700人以上の小学生が来場し、大盛況となりました。部員たちは汗だくになりながらも、明るく元気に活動してくれました。活動を通して来場者の方たちだけでなく、商店街の方たちとも交流することができ、部員にとってはたいへん貴重な体験となりました。

◎ 小さな先生から学ぶ命の大切さ

6月20日に本校にお母さんと赤ちゃんをお招きした授業を行いました。実際に赤ちゃんに触れ、赤ちゃんについて学ぶ「赤ちゃん先生」が中学1〜3年生を対象に行われました。赤ちゃんの身長や体重、生活リズムなどをお母さん方から聞いたり、赤ちゃんを抱きかかえるなど実際に赤ちゃんに触れたりしました。赤ちゃんの普段の生活や可愛らしい仕草に、生徒はとても関心を示し、意欲的に学んでいました。

TEACHER'S VOICE

津田学園中学校・高等学校
総括主任教諭　山村 光昭

ICT機器の活用やアクティブラーニング型授業の推進など、ここ数年で学校は大きく変わりました。私がこの学校に勤め始めた頃、職員室に1台のPC98がようやく導入されました。今では、全生徒がノート型パソコンを1台ずつ持っていて、教室の黒板は電子黒板に置き換わり、石灰のチョークは姿を消しました。現在のこのような様子をその頃の自分に言っても信じてもらえないかもしれません。コンピュータやスマートフォンが今のように身近なものではありませんでしたから、授業のプリントも手書きで作るなど、基本的に何でも手作りでした。たとえば文化祭のクラス企画では、全員で何日もかけてコツコツと手作りで作業を続け、最後に大きなものを完成させました。その時の感動は今でも忘れません。最近の文化祭では動画を撮影、編集するなど、どのクラスもコンピュータが当たり前のものとなりました。今のようにデジタル機器を何の抵抗もなく自由に操る生徒たちの姿は手作りの頃には見られませんでしたが、紙と鉛筆で数学の問題に取り組む直向きな姿は今も昔も変わりません。

OPEN CAMPUS

学校説明会
10月29日（土）
10:00〜11:30

入試対策講座
11月13日（日）
9:00〜13:00